

# 令和4年度 志免中学校 自己評価表

評定尺度 【A：4点（80%以上達成） B：3点（79%～60%） C：2点（59%～40%） D：1点（40%未満）】

【A・・（3.5以上）よくできている、 B・・（3.4～2.5）できている C・・（2.4～1.5）ややできていない D・・（1.4以下）できていない】

項目	番号	小 項 目	R4 前期	R4 後期	R4評価	
教育公務員としての基本姿勢	1	教育公務員として相応しい言動及び服装・身なりの徹底。	3.6	3.7	A	A
	2	勤務時間外における教育公務員としての自覚やSNSの適正な使用。	3.9	3.9	A	
	3	管理職や主幹教諭、主任主事への適切な報告・連絡・相談の実施。	3.7	3.7	A	
	4	記憶媒体の保管等、個人情報の管理及び取り扱いの厳守。	3.8	3.9	A	
	5	保護者や地域の方、来校者に対する丁寧な接遇（あいさつ、言葉遣い、電話対応）。	3.8	3.9	A	
確かな学力を育成する	6	研究推進委員会から提案された「志免スタイル」の理解と授業実践。 「志免スタイル」とは、「シンプル（資料や発問の精選）」「クリア（見通しがもてるような工夫、板書の構造化）」「ビジュアル（視覚的な補助）」「シェア（協働学習の設定、発表の仕方の工夫）」「ユニバーサルデザイン（特別支援教育の視点を生かした指導・支援の工夫）」	3.1	3.2	B	B
	7	「見方・考え方」を働かせる学習活動の工夫を取り入れた「主体的に学ぶ生徒を育てる授業」の実践。	3.0	3.2	B	
	8	10分学習や家庭学習ノート、1日の授業の振り返りによる基礎基本の定着。	3.2	3.3	B	
	9	ICT機器（電子黒板、クロームブック、書画カメラ）の効果的活用。	3.3	3.4	B	
	10	習熟度別学習、T T授業、補充教室（質問教室）等を活用した学力の二極化の改善。	2.1	2.7	B	
	11	思考力・判断力・表現力を高める授業実践や定期考査問題の質的改善。	3.1	3.2	B	
自己有用感・集団意識を高める	12	学力分析テストや定期考査、授業アンケート結果の効果的活用。	2.9	3.3	B	B
	13	生徒会活動の活性化、自治専門委員会の活動内容の学級への周知・啓発。	3.0	3.3	B	
	14	SHIMEあいさつ、整った身だしなみ、清掃指導の徹底。	3.2	3.4	B	
	15	学級や異学年での人間関係づくり（ブロック活動、リレーション活動）の実施。	2.8	3.3	B	
	16	生徒の心に響く道徳の授業の実践。	2.9	3.2	B	
	17	生徒の自尊感情を高める学級・学年掲示物の工夫・充実。	3.1	3.2	B	
健やか・たくましく育つ	18	QUアンケートの実施と結果の効果的活用。	3.0	3.2	B	B
	19	いじめアンケートの実施と事案への迅速な対応。	3.6	3.7	A	
	20	意図的・計画的な健康安全教育や給食指導の充実。	3.0	3.3	B	
組織マネジメントの推進	21	生徒の技術・資質能力（自主性等）の向上を目指した部活動指導の充実。	3.0	3.2	B	B
	22	SNSの使い方等、情報モラルに関する指導の徹底。	3.1	3.4	B	
	23	ミドルリーダー（主幹教諭、主任主事）がリーダーシップを発揮する学校運営。	3.1	3.2	B	
カリキュラム・マネジメントの推進	24	運営委員会、各種委員会、職員会議、日案、回覧レポートの内容把握。	3.3	3.4	B	B
	25	職員間で情報の共有化を図りながらの仕事の円滑化。	3.1	3.2	B	
	26	「働き方改革」を意識した業務の効率化や能率化。	2.5	2.8	B	
	27	いじめ、生徒指導の諸問題に対する組織的対応や共有化シートに基づく報告。	3.3	3.5	A	
職員研修の充実	28	不登校生徒に対するサポートチームによる個別支援の充実やSC、SSWとの連携。	3.0	3.2	B	B
	29	年間行事・月行事・週行事による見通しを持った教育活動の実施。	3.2	3.2	B	
	30	コロナ禍における学校行事（体育会や文化週間等）の工夫・充実。	3.0	3.3	B	
職員研修の充実	31	コロナ禍における総合的な学習の時間の工夫・充実。	3.0	3.4	B	A
	32	HPや各種通信を活用した保護者への情報発信、並びに地域の人的・物的資源の活用。	2.6	3.2	B	
職員研修の充実	33	教師力（指導力、人間力）の向上を目指した校内研修、OJT研修（選択ミニ研修）への積極的参加。	3.3	3.5	A	A
	34	不祥事防止研修（職員会議でのスクールコンプライアンス研修等）への積極的参加。	3.6	3.8	A	
職員研修の充実	35	キャリアアップ講座、教科等研、自主サークル研などへの積極的参加。	2.9	3.3	B	

## 【成果】

- ・確かな学力を育成する分かる授業づくりの多くの項目において成果が見られた。各教科の代表による公開授業や1人1回の公開授業、教科部会、職員研修を通して、教職員が各教科を学ばせる意義や本質について理解を深め、授業改善につながった。また、ICT機器の効果的な活用について、新しい時代の学校教育として、電子黒板やクロームブックの活用が着実に進んでいる。
- ・自己有用感を高める集団づくりの多くの項目において成果が見られた。学校行事における生徒相互の絆を深める取組、小学6年生と中学1年生の交流会の充実などいじめの未然防止の取組が充実してきた。また、子ども達は元気よく挨拶をしたり、一生懸命に掃除をしたりと活気やけじめある学校生活を過ごしている。自分から進んであいさつができる生徒が増えるよう、また地域でもあいさつをすることができるよう今後生徒会の取組を充実させていく。
- ・組織マネジメントの推進において、いじめ、生徒指導の諸問題に対する組織的な対応ができており、今年度重大事態は発生していない。
- ・カリキュラム・マネジメントの推進において地域の人的資源の活用の項目において成果が見られた。志免中校区コミュニティ・スクールが浸透し、地域とともにある学校づくりが進んできた。

## 【課題】

- ・組織マネジメントの推進において、職員の情報共有に課題がある。また、カリキュラム・マネジメントの推進における行事計画による見通しを持った教育活動の実施にも課題が見られる。3ヶ月先を見通した教育活動を展開できるように、また校務の情報化を一層進め、教師が生徒と向き合う時間はしっかり確保しながら「働き方改革」を進めていく。